

暗雲漂うスペイン政局

発表日：2015年12月21日(月)

～連立協議の難航で高まる再選挙のリスク～

第一生命経済研究所 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

- ◇ 20日の総選挙は現与党の国民党が第1党の座を守ったが、リベラル系新党・市民の議席が伸び悩み、「国民党+市民」による連立政権の発足は難しくなった。右派総結集には、独立の動きを強めるカタルーニャの地域政党の協力が必要で、自治拡大や住民投票の実施を求められる可能性がある。
- ◇ 他方、前野党の社会労働党や反緊縮派のポデモスを中心とした左派政権の発足も困難な情勢。国民党政権打倒で中道政党の市民が左派勢に加わるか、自治拡大や独立要求の受け入れを条件にカタルーニャの右派政党が左派支持に回る必要がある。
- ◇ 総選挙後の連立協議の難航は避けられない。地域独立の動きも相俟って、どのような政権が誕生するかは不透明な情勢。右派・左派勢力の議席数が極めて拮抗しており、政権発足ができないまま2ヶ月が経過し、再選挙となるシナリオの確率が増している。

20日に行われたスペインの総選挙（下院の定数が350、99.1%開票時の速報結果）は、中道右派の現与党「国民党（PP）」が122議席で第1党の座を死守したものの、2011年の前回総選挙（186議席）から大幅に議席を失った（図表1）。91議席で第2党となった中道左派の前与党「社会労働党（PSOE）」との大連立はスペインの政治史上で前例がないばかりか、世論を無視して守旧派勢力が手を結んだと受け止められ、今回の選挙で大躍進した新興2政党への更なる支持拡大につながる恐れがあり、実現の可能性は低い。

従来、国民党の有力な連立相手と目されてきた改革派のリベラル政党「市民（C'sまたはCiudadanos）」の獲得議席が事前の世論調査と比べて伸び悩み（60議席程度の獲得予想に対して実績は40議席）、「国民党+市民」では過半数（176議席以上）に届かない。国民党が政権を発足するためには、ラホイ首相の退陣や構造改革の強化を求める市民の協力に加えて、独立の動きを強めるカタルーニャの右派系地域政党「民主主義と自由（DL）」の協力が必要で、自治拡大や独立の是非を問う住民投票の実施を求められる可能性がある（図表2・左段）。国民党が単独もしくは市民と協力して、非多数派政権の樹立を目指す可能性もあるが、その場合は左派勢力との議席が拮抗しており、議会運営が早晩行き詰る恐れが出てくる。

他方、左派勢力が政権を発足するのも容易でない。反緊縮色の強い新興の左派政党「ポデモス（Podemos）」が事前の世論調査を上回る支持を集めたが（50議席程度の獲得予想に対して実績は69議席）、「社会労働党+ポデモス」では過半数に満たない。旧共産党系の「統一左翼（IU）」や左派系地域政党が加わり、左派が総結集しても過半数には届かない（図表2・右段）。左派勢が政権を発足するためには、国民党政権の打倒を目指して中道派の市民が左派勢に加わるか、カタルーニャの自治拡大や独立要求の受け入れを条件に同州の右派政党が左派支持に回る必要がある。

新議会は総選挙から25日以内、すなわち来年1月14日までに召集される（憲法68条6項）。総選挙の結果を踏まえ、国王は議会の議長などと相談のうえ首相候補を指名する（同99条1項）。この際、首相候補は総選挙で最多票を獲得した政党から選ばれる必要は必ずしもない。連立協議の結果などを踏まえ、政権発足が見込まれる政党から首相候補を指名することになる。指名された首相候補は、発足を目指す政権の政策指針を示し、議会の信任を得なければならない（同99条2項）。信任投票で議会の絶対過半数（議員定数の過半数）が信任すれば、国王は同候補を首相に指名する（同99条3項前段）。信任投票で議会の絶対過半数が得られない場合、前回投票から48時間以内に再び信任投票を行い、議会の単純過半数（投票総数の過半数）が信任すれば、国王は同候補を首相に指名する（同99条3項後段）。2回目の投票でも信任されない場合、同じプロセスを繰り返す（同99条4項）。初回の信任投票から2ヶ月以内に信任されない場合、国王は議会を解散し、再選挙が行なわれる（同99条5項）。

今回の選挙結果を受け、総選挙後の連立協議の難航は避けられない。地域独立の動きも相俟って、どのような政権が誕生するかは不透明な情勢だ。右派・左派勢力の議席数が極めて拮抗しており、政権発足ができないまま2ヶ月が経過し、再選挙となるシナリオの確率が増している。

（図表1）スペイン下院選挙の速報結果（99.1%開票時）

政党名	イデオロギー	地域政党	今回（2015/12/20）		前回（2011/11/20）	
			議席数	票率（%）	議席数	票率（%）
国民党（PP）	中道右派	—	122	28.7	186	44.6
社会労働党（PSOE）	中道左派	—	91	22.0	110	28.8
ポデモス（Podemos）	左派	—	69	20.7	—	—
市民（C's）	中道	—	40	13.9	—	—
カタルーニャ共和左翼（ERC）	左派	カタルーニャ	9	2.4	3	1.1
民主主義と自由（DL）	中道右派	カタルーニャ	8	2.3	16	4.2
バスク国民党（PNV）	中道右派	バスク	6	1.2	5	1.3
統一左翼（IU）	左派	—	2	3.7	11	6.9
ビルドゥ（Bildu）	左派	バスク	2	0.9	7	1.4
カナリア連合	中道右派	カナリア	1	0.3	2	0.6
その他	—	—	0	4.0	10	11.2
合計	—	—	350	100.0	350	100.0

注：民主主義と自由（DL）は前回選挙で集中と同盟（CiU）、ビルドゥ（Bildu）は前回選挙でアマニール（Amaiur）
出所：スペイン内務省資料に基づくBloomberg報道より第一生命経済研究所が作成

（図表2）スペイン下院選挙の速報結果（99.1%開票時）

【右派系政党の獲得議席】

国民党（PP）	122
市民（C's）	40
民主主義と自由（DL）	8
バスク国民党（PNV）	6
カナリア連合	1
合計	177

【左派系政党の獲得議席】

社会労働党（PSOE）	91
ポデモス（Podemos）	69
カタルーニャ共和左翼（ERC）	9
統一左翼（IU）	2
ビルドゥ（Bildu）	2
合計	173

出所：スペイン内務省資料に基づくBloomberg報道より第一生命経済研究所が作成

以上